

2024（令和6）年度

黒潮町の一般会計当初予算は 108億7,000万円です

— 前年度比1.0%（1億1,500万円）の減額となりました —

一般会計の概要

令和6年度当初予算は黒潮町当初予算編成基本方針および黒潮町総合戦略に基づき、「新型コロナウイルス感染症における感染予防の継続とBeyond（ビヨンド）コロナの時代を見据えた経済対策の推進」「製造業と一次産業を軸にした新産業創造事業の取り組み」「妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化」「黒潮町版地域包括ケアシステムの深化による地域社会の構築」「自ら考え判断し行動できる力、学び続ける力の育成」「全ての自然災害に対する『防災・減災』施策の推進」「移住・定住対策の推進及び安全な住宅地の形成」「高規格道路の早期完成と関連事業の推進」「カーボンニュートラル社会などSDGs（※1）の展開とDX（※2）による『新しい時代』に対応したまちづくりの推進」の9点を重点項目とし、住民ニーズへの的確に対応できるよう予算の計上を行っています。黒潮町の令和6年度一般会計当初予算は、前年度比1.0%（1億1千500万円）減の108億7千万円となっています。

また、10個の特別会計を加えて重複分を除いた純合計は147億2千446万9千円で2.2%（3億1千771万6千円）の増となっています。一般会計の減額の主な要因は、町債償還金、情報センター事業特別会計繰出金などの公債費、繰出金などの減によるものです。5年連続100億円を超える大型予算となり、後年度への財政負担を最小限とするためにも、限られた財源を有効活用し、行政サービスの質の向上と住民福祉の増進に向けて取り組んでいかなければならないと考えています。

※1 Sustainable Development Goalsの略。2030年までに持続可能でよりよい世界をめざすための国際目標

※2 Digital Transformationの略。デジタル技術によって人々の生活をよりよいものに変革すること

歳入

歳入は、町税8億2千624万3千円など自主財源が33億6千568万円、地方交付税39億円など、依存財源は75億432万円を見込んでいます。

町債は10億6千988万2千円で、臨時財政対策債678万2千円、過疎対策事業債7億8千660万円、公営住宅建設事業債1億6千400万円、辺地対策事業債5千140万円、などとなっており、令和6年度末の起債残高は102億178万3千円となる見込みです。

基金の繰入額は財政調整基金や特目基金など10億2千689万6千円を予定しており、令和6年度末の基金残高は42億5千888万1千円の見込みです。

歳出

歳出は、目的別では予算額の多い順に民生費24億3千779万9千円、総務費22億2千411万9千円、衛生費14億5千570万6千円で、上位3部門のみで全体の56.4%となっています。性質別では、義務的経費が人件費17億8千721万6千円、扶助費6億2千314万6千円、公債費など38億4千196万3千円を計画し、投資的経費は普通建設事業15億4千533万円など15億7千229万5千円を予算計上しています。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合にその経費を明確にするために一般会計と区分して設けられた会計です。黒潮町では、一般会計と重複する給与等集中処理特別会計を除いて10の特別会計があります。

また、農業集落排水事業および漁業集落排水事業が令和6年4月1日より公営企業会計へ移行することに伴い、集落排水事業特別会計となります。

特別会計	住宅新築資金	222万7千円
	宮川奨学資金	1,360万7千円
	情報センター	1億1,468万5千円
	国民健康保険	22億370万9千円
	国民健康保険直診	6,379万1千円
	介護保険	18億4,631万1千円
	介護サービス	2,051万6千円
	集落排水事業	5,271万円
	後期高齢者医療	2億5,591万3千円
	水道事業	2億8,647万7千円

令和6年度 9つの重点項目事業

◆ 製造業と一次産業を軸にした新産業創造事業の取り組み

地場産品外商力強化事業	147万2千円
地場産品商社機能拡充事業	149万3千円
食品加工継続支援事業	300万円
農業次世代人材投資資金「経営開始型」	592万5千円
新規就農者育成総合対策事業	3,975万円
園芸用ハウス整備事業	325万円
新規漁業就業者支援事業	295万円
佐賀地区漁業集落環境整備事業	4,466万円
森林環境保全整備事業	212万5千円
新たな森林管理システム調査事業	1,510万円
松くい虫防除対策	728万9千円
有害鳥獣被害防止対策事業	2,053万2千円

◆ 妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化

チャイルドシート購入事業	30万円
高校生等医療費助成事業	463万5千円
初回産科受診料支援事業	22万5千円
不妊治療補助金事業	90万円
妊婦乳児一般健康診査	454万6千円
出産・子育て応援交付金事業	500万円

◆ カーボンニュートラル社会などSDGsの展開とDXによる「新しい時代」に対応したまちづくりの推進

脱炭素カルテ訪問員配置事業	1,037万8千円
住宅向け太陽光発電施設設置補助金事業	6,357万4千円
省エネ家電買替補助金事業	4,166万7千円
公共交通効率化システム導入事業	2,295万8千円
住民情報システム標準化移行業務	2,882万2千円
スマホ購入者に対する操作支援事業	50万円
スマホ新規購入補助金事業	100万円

◆ 新型コロナウイルス感染症における感染予防の継続とBeyond(ビヨンド)コロナの時代を見据えた経済対策の推進

コロナ対策に特化した予算計上は行っていません。引き続き、これまでの各種事業の効果・検証を行い、必要な施策を推進していきます。

◆ 黒潮町版地域包括ケアシステムの深化による地域社会の構築

あったかふれあいセンター事業委託	7,580万円
集落活動支援センター活動支援費	950万5千円
重層的支援体制整備支援事業	6,491万9千円

◆ 自ら考え判断し行動できる力、学び続ける力の育成

学校支援員配置事業(小学校・中学校)	2,687万7千円
ふるさとキャリア教育	177万2千円
各種の検定受検料補助金事業	86万3千円
ICT支援員配置委託	930万6千円
大方高校支援事業費	2,704万2千円
黒潮町「総合的な学習の時間」授業力向上支援委託	546万3千円

◆ 全ての自然災害に対する『防災・減災』施策の推進

木造住宅耐震改修事業	5,999万9千円
がけくずれ住家防災対策事業	1,000万円
緊急自然災害防止対策事業(林業修繕工事)	761万2千円

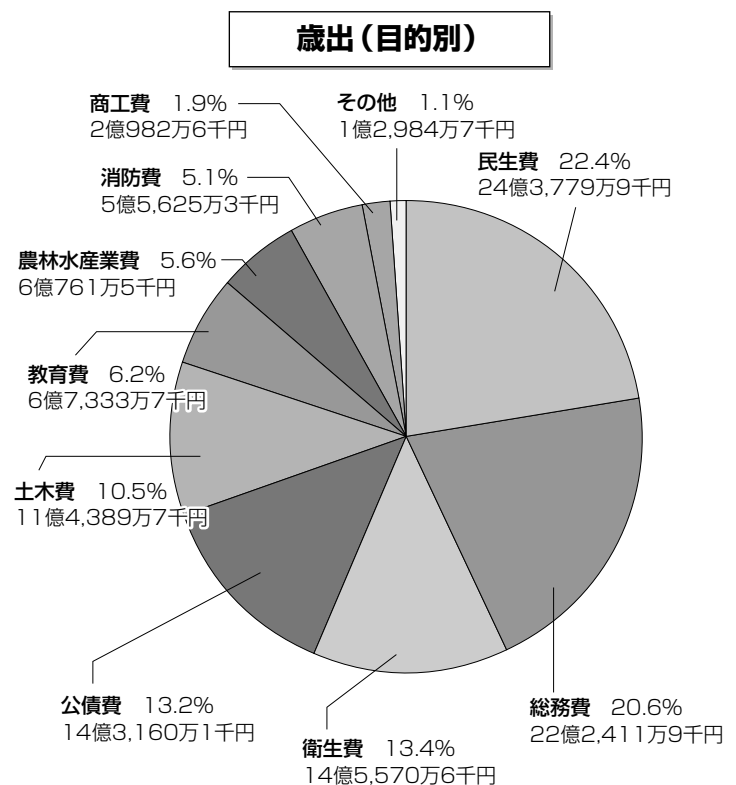
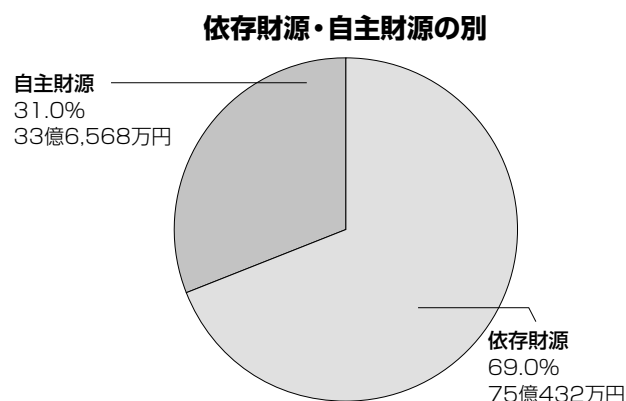
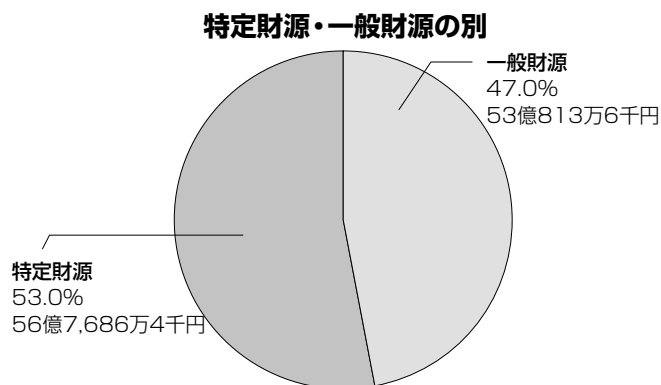
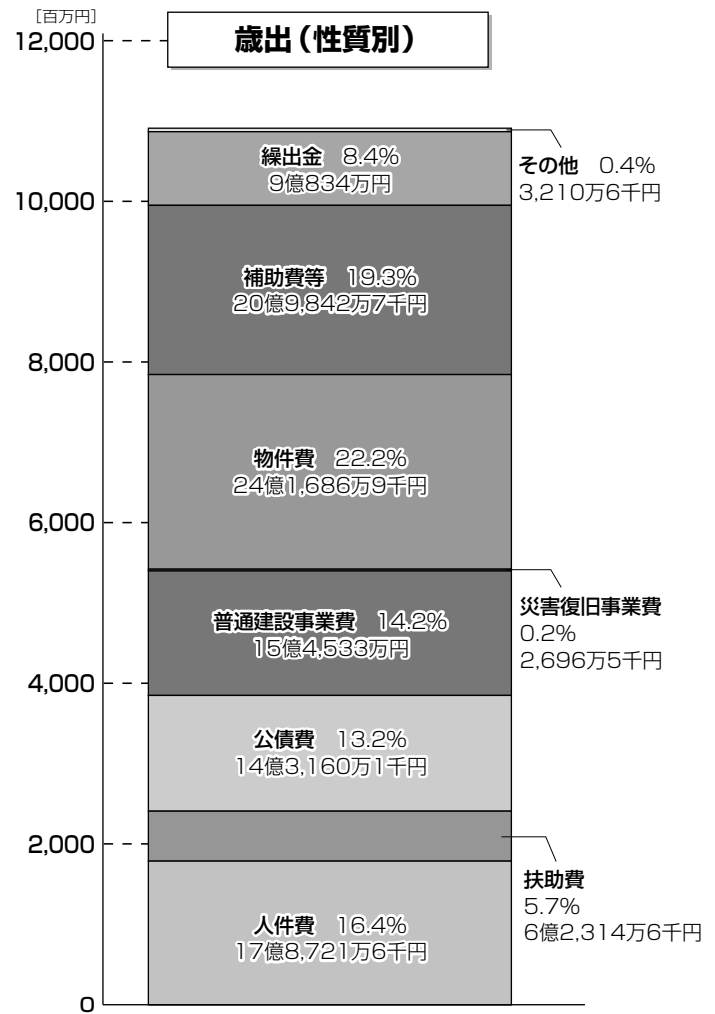
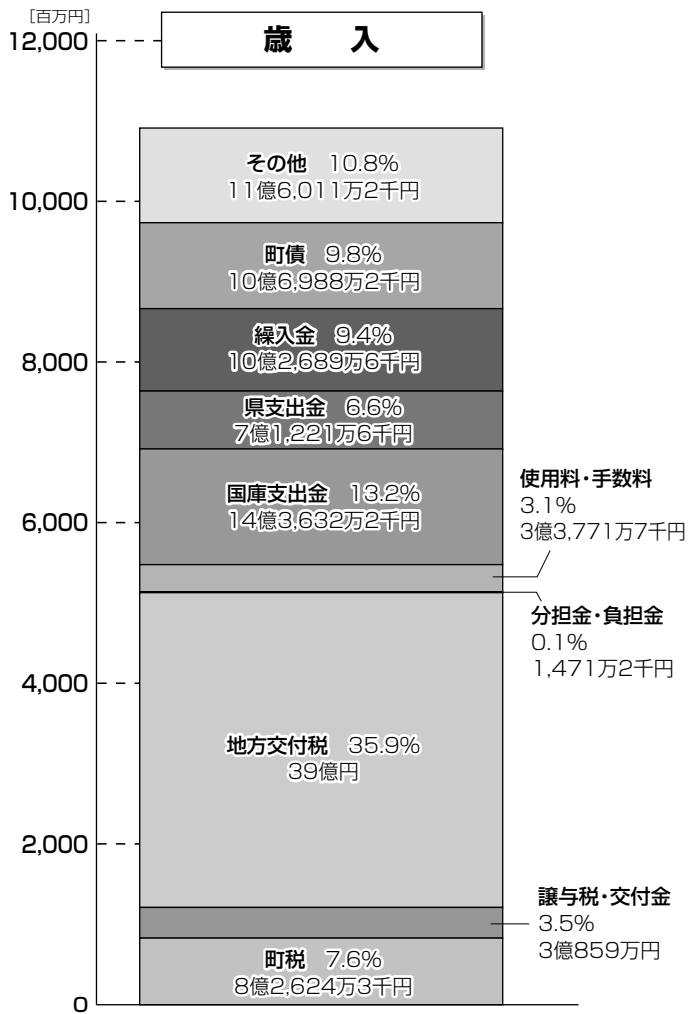
◆ 移住・定住対策の推進及び安全な住宅地の形成

町営住宅整備事業	3億9,466万7千円
定住促進住宅整備事業	3,000万円
移住者支援事業	2,742万1千円

◆ 高規格道路の早期完成と関連事業の推進

高規格道路等関連施設整備事業	6,580万9千円
----------------	-----------

令和6年度一般会計当初予算の内訳



総務費

220,014円

庁舎の維持管理、財政、地籍調査、選挙、人事、企画、税や戸籍に関する事務など、一般的な事務にかかる経費です。



令和6年度当初予算のうち、一般会計において町民1人当たりに使われるお金は次のようになります。

当初予算÷人口＝町民1人当たり…

1,075,279円

※令和5年12月31日現在の人口(10,109人)で算出



町民1人当たりの
予算の使い道



農林水産業費

66,608円

農林漁業の推進や、新規就農者・漁業者推進にかかる経費です。ほかにも農道整備、漁港整備に使われています。



衛生費

144,001円

し尿処理などの環境保全、健康増進への取組、予防接種などの疾病予防にかかる経費です。



民生費

241,151円

高齢者や体に不自由がある人に対して、福祉の充実に使われる経費です。また、子育て支援などにも使われます。



消防費

55,026円

防災無線・消防設備・消防団にかかる防災経費や、災害対策にかかる経費です。



土木費

113,156円

道路・河川・橋の整備や点検など、地域のインフラ整備にかかる経費です。



商工費

20,756円

観光やスポーツツーリズムの推進、地域の商工業推進にかかる経費です。



その他

12,845円

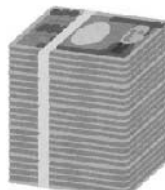
議会の運営経費や災害復旧費にかかる経費などです。



公債費

141,616円

町が借りたお金を支払うために使われる経費です。



教育費

60,106円

小中学校の運営や人権教育の推進、生涯学習活動にかかる経費です。

